



国家のあり方

AI・自由民主主義・監視社会②

国際社会経済研究所 (NECグループ) 上席研究員

原田 泉



決済情報をAIが詳細に解析し、国民一人ひとりの行動の監視・管理を強化し、またネットの世論管理を国内外で強化している。

ポピュリズム

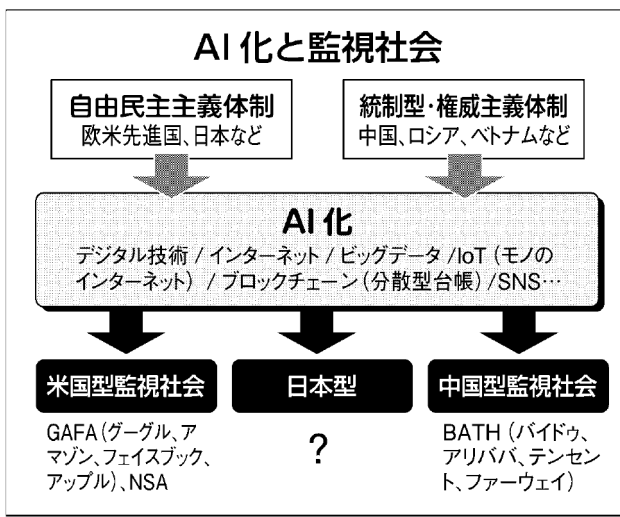
これに対し、米国・欧州では格差が拡大し、大衆の不満や憎悪をあおるポピュリズム的な政治手法が一般化し、民主政治は衆愚政治へと向かっているか

現在の国家のあり方を考えると、先進資本主義国に代表される自由民主主義体制と中国、ロシア、ベトナムなどに代表されるような統制型・権威主義体制に特徴づけられる。そして両体制とも人工知能(AI)化が進む中で、性格の異なる監視社会が形成されている。現在中国は米中新冷やスマートフォンでの

戦や香港の混乱が長期化するなか、ビッグデータ(大量データ)やAIを使つての監視社会構築や世論管理を強化している。国内には「幸福な監視社会」を2億個以上の監視カメラが設置され、公安当局は身分証、携帯電話番号、銀行口座を顔認証と組み合わせて国民を一体的に管理している。大量の画像データを持つ統制型・権威主義体制に効率面で劣る

ことなるだろう。さらにAIとその支援を受ける官僚支配が現実化していけば、より効率的な国家運営が可能になる。ポピュリズム 自由民主主義体制 欧米先進国、日本など 統制型・権威主義体制 中国、ロシア、ベトナムなど AI化 デジタル技術/インターネット/ビッグデータ/IoT(モノのインターネット)/ブロックチェーン(分散型台帳)/SNS... 米国型監視社会 GAF(Aグーグル、アマゾン、フェイスブック、アップル)、NSA 日本型 ? 中国型監視社会 BATH(バイドウ、アリババ、テンセント、ファーウェイ) 大きな影響力を持つ。AIによって行動が誘導されている。放つておけば利便性と安全性は、プライバシーや人権とトレードオフになりがちで、まさに自由と民主主義の危機である。どうやって国民・市民の自由や人権、プライバシーを守っていくか、健全なジャーナリズムを維持し、権力による不正な監視や情報の詐取をチェックする第三者機関や法令を整備していくかが、自由民主主義体制の課題となる。次回は巨大プラットフォームも持ちこたえず、「幸福な監視社会」にはならないわが国が、いかに健全な自由民主主義体制としてAI化を進めて行くべきかを考えたい。(金曜日掲載)

人権・個人情報どう守る



各国とも監視カメラの利用が問題となり、巨大プラットフォームも持ちこたえず、「幸福な監視社会」にはならないわが国が、いかに健全な自由民主主義体制としてAI化を進めて行くべきかを考えたい。(金曜日掲載)